53年度決算

歳出総額49億7,159万4千円
前年比は20.8%の増

昭和53年度の一般会計と特別会計の決算が、12月の第6回市議会定例会で認定されました。その概要はつぎのとおりです。

予算執行は適正妥当
実質収支は二億一千万円

決算額は、一般会計と特別会計の総額で、歳入、五十一億八千二百八十万八千円。歳出、四十九億七千百五十九万四千円。前年比では、歳入、一九・五%増、歳出、二〇・八%増となりました。歳入から歳出を差し引いた実質収支額は、二億一千百二十一万四千円で、予算に対する執行率は、九五・五%でした。

市監査委員の審査結果意見では、「内容、予算執行状況など、全般的に適正妥当」と認めています。

（一般会計歳入）
自主財源は五三%

一般会計の歳入決算額は、四十五億五千二百三十八万円で、うち市税・使用料・財産収入などの自主財源は、二十四億千百九十万八千円で、五三%を占めています。

主な財源の比率は、自主財源では、市税三七・四%、諸収入五・二%、使用料及び手数料四・二%、繰越金三・六%、財産収入一・三%など。依存財源では、地方交付金一五・七%、市債一四・一%、国庫支出金一〇・八%、県支出金四・二%などが主なものです。

（一般会計歳出）
執行率は九七%

一般会計の歳出決算額は、四十三億七千五百六十六万七千円で、前年比一二・二六%の増加。予算額四十五億千百三十一万八千円に対する執行率は、九七%でした。

款別の前年比では、消防費一七・一五%、商工費一六・八%、土木費の一三・二一%などの伸びが目立ち、あとは一〇%前後の伸びでした。各款別の決算額構成費は、前ページのグラフのとおりです。

また、款・会計別の歳出決算額は、下段の数表のとおりです。

特別会計

国民健康保険費

歳入決算額は五億八千九百二十二万円、歳出決算額五億六千百十一万一千円で、収入率は九〇・六%、執行率は八六・三%でした。前年に比較すると歳入で五・七%、歳出で四・四%の増加になりました。

ユースホステル事業費

歳出決算額一千五百万八千円、歳出決算額一千二百八十七万一千円で、前年に比較すると歳入で一〇・七%、歳出で一二・三%の減額でした。

小来川診療所費

歳入決算額二千六百十九万九千円、歳出決算額二千百九十四万四千円。前年に比較すると歳入で〇・八%、歳出で四・四%の増加になりました。

昭和53年度 款別の歳出決算額

（単位：千円）

〔一般会計〕		
議	会	費 99,282
総	務	費 802,673
民	生	費 488,359
衛	生	費 266,897
労	働	費 11,314
農林水産業		費 248,133
商	工	費 602,341
土	木	費 786,710
消	防	費 366,790
教	育	費 506,712
公	債	費 184,968
諸	支出	金 11,488
	計	4,375,667
〔特別会計〕		
国民健康保険		561,111
ユースホステル		12,871
小来川診療所		21,944
合	計	4,971,593

「日光市史」通史編が完成

日光の原始・古代から近現代にいたる変遷を、系統的にまとめた「日光市史」（通史編）が、このほど完成しました。

完成した市史は、上巻（序編、考古編、古代・中世編）、中巻（近世編）、下巻（近現代編、民俗編）の三巻にわかれています。

規格はA五判、表紙は布クロスで背金文字、装丁はビニールカバーとケース付き、ページ数は三巻とも約一、〇〇〇ページです。

市史編さんは、明治百年の記念事業として、八年余の歳月と十五人の専門家の執筆により、できるだけわかりやすく、また、日光をより深く理解していただけるようにと配慮して作られました。

千二百余年前、勝道上人によって開かれた日光は、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれ、歴史的・文化的な伝統にはぐくまれて発展してきましたが、市史では、これらの変遷を通史編として上・中・下の三巻にわけて網らしてあります。

頒布価格は、上巻三、四〇〇円、中巻三、五〇〇円、下巻三、六〇〇円で、申し込み済みの方には、一月末に配本されます。まだ、申し込まない方でご希望の方は、市史編さん室（☎④一一一一内線三三二）にお申し込みください。